

# 報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

2023年12月21日(木)15:30~17:00

懇談会

## 1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長) —

## 2. ニュースリリース

●みんなくの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 園田 直子 (議長) —

## 3. 受賞報告 / 最新の研究紹介

[詳しくはこちら](#)

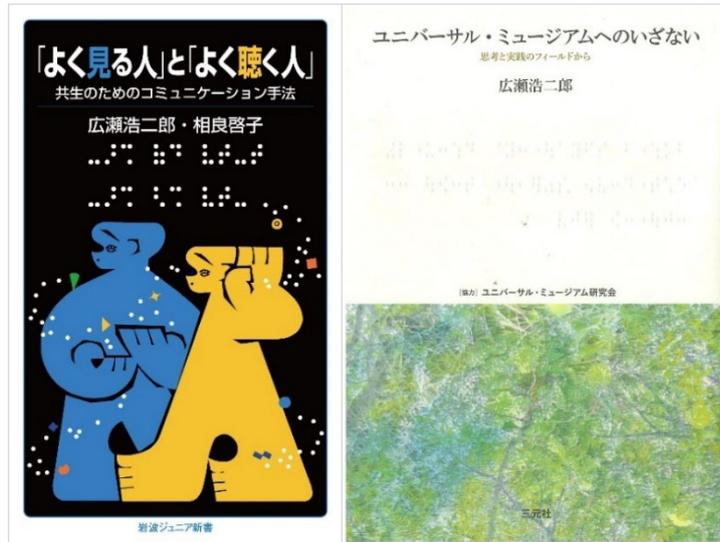
令和5年度文化庁長官表彰の受賞をご報告いたします。また著書2冊についてもご紹介します。

### 『「よく見る人」と「よく聴く人」——共生のためのコミュニケーション手法』

(広瀬浩二郎、相良啓子 著/岩波書店)

### 『ユニバーサル・ミュージアムへのいざない——思考と実践のフィールドから』

(広瀬浩二郎 著/三元社)



— 広瀬 浩二郎 (人類基礎理論研究部 教授) —

## 4. みんなく創設50周年記念 特別研究シンポジウム

[詳しくはこちら](#)

### 「特別展〈先住民の宝〉再訪：国立民族学博物館における少数／先住民族展示の試み」

2020年に国立民族学博物館で実施した特別展「先住民の宝」において少数／先住民族の文化がいか  
に展示されていたかを振り返ります。展示を担当した本館教員7名がその展示内容と意図を紹介  
し、本特別展の成果を考えます。

日 時：2024年1月20日(土)10時30分~17時(10時開場)

会 場：本館 第4セミナー室(定員：60名)

参加費：無料

参加方法：事前申込制、先着順。mtoi★minpaku.ac.jp(★印を@に変更して送信してください)。

件名に「先住民の宝申込」と明記し、お名前、ご所属(あれば)をご記入ください。

(申込期間：2024年1月15日まで)

— 鈴木 紀 (学術資源研究開発センター 教授) —

## 5. みんなく映画会

[詳しくはこちら](#)

### 「みんなく映像民族誌シアター」

本館オリジナルの映像作品である「みんなく映像民族誌」シリーズから選定した作品を上映し、監修者によるトークをおこないます。会場はシアターセブン（十三）。館外での開催です。

#### 「津軽のカミサマ」

日 時：2024年1月13日（土）13時30分～16時（13時開場）  
解 説：大森康宏（本館 名誉教授）  
司 会：黒田賢治（本館 助教）

#### 「千年の時を奏でる——モロッコのアンダルシア音楽祭」

日 時：2024年1月21日（日）14時～16時（13時30分開場）  
解 説：堀内正樹（成蹊大学 元教授）、西尾哲夫（本館 名誉教授）  
司 会：黒田賢治（本館 助教）

#### 「ジャワ島チルボンの木偶人形芝居——ワヤン・ゴレック・チュパック」

日 時：2024年2月10日（土）14時～16時（13時30分開場）  
解 説：福岡 正太（本館 教授）  
司 会：黒田賢治（本館 助教）

#### 「面打ち——京都の能面師」

日 時：2024年2月18日（日）13:30～16:00（13時開場）  
解 説：吉田 憲司（本館 館長）  
司 会：黒田賢治（本館 助教）

会 場：シアターセブン（大阪・十三）

定 員：各回 55名（要事前申込（本人を含む2名まで）/先着順）

参加費：無料

※オンライン（ライブ配信）あり 定員 100名



— 黒田 賢治（グローバル現象研究部 助教） —

## 6. 創設 50 周年関連事業 みんなく創設 50 周年記念について

[詳しくはこちら](#)

国立民族学博物館（みんなく）は、2024（令和6）年に創設50周年を迎えます。この節目の機にあたって、私たちは、みんなくの過去の50年を振り返り、現状を見極めて、これから50年先、100年先の人類学のありかたとみんなくの姿を構想するための一連の事業を実施することといたしました。当日は、その事業の概要をご紹介します。



— 吉田 憲司（本館 館長） —

※その他の配布資料 外来研究員受入一覧（資料5）、外国人研究員受入一覧（資料6）



国立民族学博物館  
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報・IR係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp